

**「ポートのまち」
ブランディングと駅前開発**

戸田公園駅からの人の流れをつくる

政策 TODA
えん どう ひで き
遠藤 英樹 議員



議員 「ポートのまち」としてのブランディングは県営戸田公園側の整備と連動させるとされているが、駅前側の「玄関口」としての機能強化はどうなっているのか。また、戸田公園駅西口駅前まちづくり用地は、なぜ再度10年間の賃貸借契約に付したのか。

市長 県営戸田公園側の整備と連動させるに当たっての駅前側の機能強化については、「ポートのまち」のブランディング事業を令和8年度から実施していく中で県営戸田公園における人の賑わいを創出するために、駅からの来訪のしやすさは重要な要素と考えており、人を誘導することができるような分かりやすい経路の整備などについて検討していく。戸田公園駅西口駅前まち

づくり用地については当面事業化できないと判断したため貸し付けた。

議員 10年間を待つことなく、地域経済の活性化等複合的戦略を持って速やかに事業を進めてほしい。

ふるさと祭りと商工祭の同日開催

議員 趣旨も開催時期も異なる2つのお祭りを10月に同じ場所で同日開催する理由は何か。

市長 熱中症対策と経費合理化が主な理由である。

議員 市役所に会場移転したことの功罪の検証をしてほしい。その結果を踏まえて同日開催という方法が本当に市民ニーズに応えることにつながるかを判断すべき。お盆の時期に開催する盆踊りという戸田ふるさと祭りの元来の趣旨も消さないでほしい。



競艇場で開催していた時のふるさと祭り（平成30年）

ホームドア設置後の駅係員の配置は

現時点では未定とのこと

日本共産党戸田市議団
ほん だ てつ
本田 哲 議員



議員 JR埼京線3駅へのホームドア設置は、市民と共に早期設置を求めてきた。設置に向けた予算措置は大変重要である。一方、駅係員が配置されなくなるとの心配の声が寄せられている。ホームドア設置後の駅係員の配置は、どのようになるのか。

市長 JR東日本大宮支社に確認したところ、ホームドア設置後の駅係員の配置は、現時点では未定とのこと。市としても利用者が混乱しないよう、働きかけていく。

給食費無償化の助成金の申請方法は

議員 小学校の給食費無償化は、市民と共に早期実施を求めてきた。予算措置を大いに評価する。食物アレルギーや不登校などにより給食の提供を

受けていない児童生徒などを対象とする助成金の申請方法は。

市長 電子申請および郵送申請とし、対象者へ7月頃に通知、8月からの2か月間を申請期間とする。

奨学金の返済支援の周知は

議員 奨学金の返済支援の予算は大いに評価するが、予算120万円は少額である。予算の積算根拠と周知方法は。

市長 若者奨学金返済サポート補助金の積算は、他自治体の実施状況、利用実績などを参考にした。広報戸田市や市ホームページ、SNSを利用するほか、商工会や関係団体とも連携し、積極的にPRする。



JR戸田駅のホーム

**駅ホームドア早期設置に
動いた経緯は**

事故が後を絶たない状況を
考慮

公明党
たけ うち まさ あき
竹内 正明 議員



議員 公明党は平成28年9月以来、議会でJR埼京線の市内3駅ホームドア設置を要望してきた。令和6年12月の質問では「令和13年度ごろまでの設置」との回答だったが、今回着手する方向となった経緯について伺う。

市長 JR東日本大宮支社長へホームドアの早期設置を積極的かつ強力に働きかけてきた。技術的・物理的な側面からホームドア設置に向け環境が整いつつあることや、市内3駅で貴い命が失われる事故が後を絶たない状況などを考慮し、早期設置に動いたのではないかと捉えている。

刷新される見守り防犯カメラの管理体制は

議員 防犯カメラが市内3駅へ初めて導入された平成27年当時は、「プライバシーへの配慮」な

どの理由で反対派の議員がいた中、一貫して防犯カメラの重要性を訴えてきた。公明党が導入を提案した「見守り防犯カメラ」の新年度の刷新と一括管理体制の整備などについて詳細を伺う。

市長 現在の防犯カメラを最新の機器へ更新するとともに、すべての防犯カメラをネットワーク型に統合し、一元的な管理体制を整備する。併せてGPS端末を活用した見守りサービスへ更新し、利用者である保護者の利便性をより高めるものとなる。



JR東日本のホームドア：従来型ホームドア（標準タイプの基本）

**新曽地区北大通り
雨水貯留管の効果は**

大きな効果を発揮するものと
期待

平政会
えの もと もり あき
榎本 守明 議員



議員 新曽地区北大通り雨水貯留管の完成により期待される浸水被害の軽減について、効果の及ぶエリアとどれ程の効果が見込まれるのか、期待を込めて伺う。

市長 北大通り雨水貯留管については、令和8年3月の完成予定となっている。この貯留管では既往最大降雨に対し、浸水被害が発生することのないよう計画されており、今年*の出水期以降、戸田駅西口から山宮橋までの区間において、大きな効果を発揮するものと期待している。また、貯留管により期待される効果として上戸田川および菖蒲川へ流出していた雨水の一部を貯留することとなる。これにより、新曽中央地区を含めた菖蒲川流域においても、

**浸水被害の軽減が見込まれる。
新曽土地区画整理事業の推進は**

議員 新曽土地区画整理事業内の北戸田駅西口駅前の工事や戸田翔陽高等学校周辺の区画街路の整備を踏まえ、現状の取り組み状況と今後の方針を伺う。

市長 北戸田駅西口駅前交通広場および交流広場整備工事については、令和8年秋の完成を目指している。また、戸田翔陽高等学校周辺については、外周約800メートルに9メートルおよび12メートルの区画街路を段階的に整備するとともに、そのうちの約3分の1部分に雨水管渠も併せて整備する予定である。



浸水被害の軽減が期待される雨水貯留管